

未来へつなぐ しが文化活動応援事業

事業番号：0629-0110

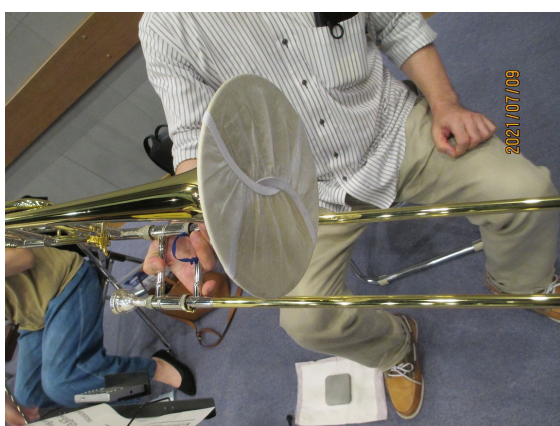
事業名：大津管弦楽団第140回定期演奏会

報告者：大津管弦楽団 事務局長 小濱 亨

その他の木管楽器（オーボエ、クラリネット、ファゴット）は「セーフティベルマスク」を採用した。右写真はオーボエの例で、クラリネットやファゴットも同様に装着した。



金管楽器の「セーフティベルマスク」は、楽器によって、サイズが異なる。トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバの例を下に示す。





演奏会では、会場出入り時に、体温測定を行い、37.5℃以上の発熱がある場合は、入場をお断りすることとした。また、手指消毒を行った。

入場者を記録した。団員の手売りの際にリストを作成すると共に、チケット半券にも連絡先を記入頂いた。

上記の検温や消毒、そして整列や誘導を行うスタッフは10名を配置した。

退場時は、アナウンスで、座席の列ごとに退場を促し、混雑が生じないようにした。

プログラム表紙

プログラムや注意書きは、自分で取って貰うようにし、互いの接触を避けた。



入場者にはマスクを着用頂き、少なくとも1席ずつ空けて座るようお願いした。

本番は、発声しないことから、マスクの着用を任意としたが、殆どの団員は着用していた。

アンケートは紙でなく、QRコードを用いてスマホ等から入力して貰った。
励まされるコメントを多数頂いた。



〔所感〕

開催より2週間以上が無事に過ぎ、安堵している。2年ぶりの演奏会を開催することができ、感慨深い。聴衆の拍手が心に染み、今後の活力となった。